

八潮市沿革図（近世以降）

凡例 太字ゴシック体で示した村名：近世の八潮市域20か村—江戸幕府の郷帳に登場し、現在の八潮市域におおむね相当し、村名が大字に継承されている20か村—（村名の表記は『れきナビ』の見出し語）。

明治元年（1868）より武蔵知県事管轄 同2年（1869）正月13日より小管県 同4年（1871）4月制定戸籍法による戸籍区は小管県第八区 同年11月14日より埼玉県 同5年（1872）3月より埼玉県第一区 単独ないし2～3か村連合の事務所 同12年（1879）3月より南埼玉郡 八條・鶴ヶ曾根両村以外は2～5か村連合の戸長役場

武蔵国埼玉郡(近世初期は騎西郡)八條領下郷(中郷・下郷)

八條村

※慶安元年(1648)9月西勝院・大経寺宛朱印状は「武蔵国足立郡八條村」※注1)

鶴ヶ曾根村

小作田村

伊草村

松之木村

立野堀村

二町目村

木曾根村

川崎村

南川崎村

明治12年(1879)3月改称

伊勢野村※注2)

大瀬村

大瀬新田
寛永4年(1627)分村

古新田 (古新田村・新田村)

圀村

馬場村

近世初頭分村

上馬場村

中馬場村

下馬場村

大原村

大曾根村

大曾根村新田権兵衛組 宝暦3年(1753)検地 無民家	明治7年(1874)12月28日 大曾根村に合併
大曾根村新田平次右衛門組 宝暦2年(1752)検地	

浮塚村

柳之宮村

西袋新田※注3)
もと柳之宮村カ
寛永4年(1627)分村カ

西袋村

西袋村新田平次右衛門組
宝暦2年(1752)検地 無民家

明治7年(1874)12月28日
西袋村に合併

後谷村

南後谷村

明治12年(1879)3月改称

明治17年(1884)7月より
松之木村連合

埼玉県南埼玉郡**八條村**
明治22年(1889)4月1日合併

明治17年(1884)7月より
伊勢野村連合

埼玉県南埼玉郡**潮止村**
明治22年(1889)4月1日合併

明治17年(1884)7月より
上馬場村連合

埼玉県南埼玉郡**八幡村**
明治22年(1889)4月1日合併

大字立野堀

昭和31年(1956)9月28日
埼玉県北足立郡草加町へ編入
昭和33年(1958)11月1日
市制施行に伴い、大字立野堀
は稲荷町となる

昭和31年(1956)9月28日合併

埼玉県南埼玉郡**八潮村**

昭和39年(1964)10月1日町制施行

埼玉県南埼玉郡**八潮町**

昭和42年(1967)6月1日
← 草加市稲荷町・青柳町・柿木町の各一部を編入
同日
→ 大字八條・小作田・松之木・伊草の各一部を分離
(草加市へ)

昭和47年(1972)1月15日市制施行

埼玉県**八潮市**

昭和54年(1979)4月1日
← 草加市稲荷町の一部を編入
同日
→ 大字伊草・松之木・小作田・柳之宮の各一部を分離
(草加市へ)

八潮市立資料館編『れきナビーやしお歴史事典』

注

- 慶応4年(1868)9月「御朱印写」（八條清勝院文書No.14）に写されている万延元年(1860)9月徳川家茂朱印状にも、「武蔵国足立郡八條村西勝院」と記されている。ちなみに、「御朱印写」の差出は、「武州埼玉郡八条村　高久村密厳院新義真言宗　西勝院」。祐尊が書写した「胎蔵界」（同No.2205）の慶長16年(1611)8月付奥書には、「武州駿西郡八条西勝院」とあり。未確認であるが、寛永4年(1627)9月「武州駿西郡八条村西勝院分御検地水帳」（同No.979）あり。
- 慶長17年(1612)頃に大瀬村より分村したとする説あり（『八潮市の文化財』第2号）。
- 享和元年(1801)9月初稿・文化11年(1814)8月校定「西袋村百姓家譜序」（『八潮市史　史料編近世Ⅱ』史料34）には、「西袋村之義ハ（中略―引用者注、以下同）開発も近村より格別遅く、天正慶長（1573～1615年）之頃、干上場所へ百姓六軒出来、西ノ袋新田と名附、慶長拾七年(1612)ニ御検地入（中略）元禄八亥(1695年)御検地(中略)其砌より名目西袋と相改り」とあり。慶安2年(1649)～3年作成「武蔵田園簿」は「西袋村」。延宝3年(1675)「人別帳」（『八潮市史　史料編近世Ⅱ』史料42）は「西袋新田」。

出典

- 八潮市立資料館編集発行『第22回企画展図録　八潮が生まれた日』（2009年）
- 遠藤忠「郷土の歴史」の「八潮の地名考」（『広報やしお』第482号以下）
- 小野文雄監修『日本歴史地名大系　第11巻　埼玉県の地名』（平凡社、1993年）
- 「角川日本地名大辞典」編集委員会編『角川日本地名大辞典　11　埼玉県』（角川書店、1980年）
- 『埼玉縣市町村誌　第2巻』（埼玉県教育委員会、1972年）154、156、161ページ
- 『埼玉縣市町村誌　第17巻』（埼玉県教育委員会、1979年）239～240ページ
- 埼玉県地方課編著『埼玉縣市町村合併史　上巻』（埼玉県自治研究会、1960年）25～31、60、77～79、86、142～143、263、278、720ページ
- 埼玉県地方課編著『埼玉縣市町村合併史　下巻』（埼玉県自治研究会、1962年）1013～1018ページ
- 『八潮市史』（詳細略）
- 『八潮市史調査報告書2　八潮の民俗資料　1』（八潮市、1980年）5ページ
- 『八潮市史調査報告書5　八潮の民俗資料　2』（八潮市、1982年）5～7ページ
- 『八潮市史調査報告書6　八潮の民俗資料　3』（八潮市、1983年）5～10ページ
- 八潮市教育委員会編集発行『八潮市の文化財』第2号(1986年)10～13ページ
- 埼玉県編集発行『新編埼玉県史　通史編5　近代1』（1988年）31～33、54～55、74、78、295～297、320～321、550～551、554～555ページ
- 萩原龍夫「八潮市域の近世村落概況」（『八潮市史研究』創刊号、1978年）
- 木村礎「近世の村」（『八潮市史研究』第6号、1987年）
- 石山秀和「関東農村にみる寺子屋の意義―武蔵国埼玉郡八条領西袋村の場合―」（『八潮市史研究』第15号、1994年）
- 工藤航平「近世後期の葛西用水八条領組合の組織的変遷と地域意識」（『文書館紀要』第19号、2006年）
- 渡辺隆喜「市町村制の施行と八潮地域」（『八潮市史研究』第2号、1980年）
- 蘆田伊人編集校訂・根本誠二補訂『大日本地誌大系16　新編武蔵風土記稿　第10巻』（雄山閣、1996年）
- 北島正元校訂『日本史料選書15　武蔵田園簿』（近藤出版社、1977年）147～149ページ
- 福井保解題『内閣文庫所蔵史籍叢刊　第55巻　天保郷帳（一）』（影印版、汲古書院、1984年）228ページ
- 同『内閣文庫所蔵史籍叢刊　第56巻　天保郷帳（二）　附元禄郷帳』（影印版、汲古書院、1984年）559～560ページ
- 国立公文書館デジタルアーカイブ（http://digital.archives.go.jp）
- 木村礎校訂『日本史料選書3　旧高旧領取調帳　関東編』（近藤出版社、1969年）117～118ページ
- 埼玉県編『武蔵国郡村誌　第11巻』（埼玉県立図書館、1954年）
- 昭和31年(1956)9月28日自治省告示第461号「町村の廢置分合」（『官報』第8928号）
- 昭和39年(1964)8月25日自治省告示第97号「村を町とする処分」（『官報』第11310号）
- 昭和42年(1967)5月18日自治省告示第100号「市町の境界変更」（『官報』第12124号）
- 昭和47年(1972)1月10日自治省告示第1号「町を市とする処分」（『官報』第13513号）
- 昭和54年(1979)3月28日自治省告示第75号「市の境界変更」（『官報』第15656号）
- 八條清勝院文書(八潮市立資料館収蔵CH)